

【背景】

少子高齢化、雇用の変化、グローバル化等が進展する中、長時間労働等を前提とした従来の働き方を見直し、仕事と生活の調和を実現することは、「M字カーブ問題※」の解消や方針決定過程への女性の参画の拡大を進める上で不可欠であり、社会の持続可能な発展や企業の活性化につながるものです。仕事と生活の調和は、人々の健康を維持し、趣味や学習、ボランティア活動や地域社会への参画等を通じた自己実現を可能にするとともに、家族が安心して暮らし、男女が育児・介護等について責任を果たしていく上で重要なものです。

【重点事業】

- ◆「たかおかワーク・ライフ・バランス懇談会」の設置による指針の作成等  
右下『ワーク・ライフ・バランスを推進します』を参照。

◆保育園、子育て支援センター等における子育て支援の実施・充実

保育園において、通常・特別保育を実施します。看護師などの人材を確保し、特に、病後児（体調不良型を含む）の特別保育を実施します。また、子育て支援センター、保育所などでの子育てサロン、公民館での子育て情報交換会（赤ちゃんの部屋、ファミリーポケット）の開設・運営など、情報交換の場の提供に努めます。

◆高岡型地域福祉ネットワークの確立

市民・地域団体・NPO法人・ボランティア・事業者等が連携し、高岡型地域福祉ネットワークづくりを進め、地域における「新たな支え合い体制」の確立を図ります。



※女性労働者の年齢階層別の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）をグラフに表すと、30歳代前半を底とするM字カーブを描くこと。

受講お待ちしております

トーク&トーク 仲間に聴く仕事と家庭の両立

悩みの解決方法や両立していくうえでの工夫を聴き、これからの働き方のヒントと、いきいきと働くためのパワーにしましょう。

日時 10月10日（水）14:00～15:30  
対象 働く女性 テーマに関心のある方  
定員 30名（申込み順）  
企画協力 (財)21世紀職業財団  
申込み 高岡市商業雇用課 電話 20-1297

女性の再就職・キャリア形成応援講座  
～自分を知って前進～

ワークショップ形式でキャリアのこと、自分の能力や価値観等を把握すること、キャリア形成等についていっしょに考えます。

日時 10月30日（火）13:30～15:30  
対象 市内に住むか、通勤・通学する女性  
講師 越智 真琴さん（キャリアコンサルタント・ビジネスコーチ）  
定員 20名  
託児 対象：満1歳以上就学前のお子さん（無料）  
※託児の申込みは10月16日（火）まで  
申込み 男女平等推進センター

市民企画講座 女性と科学

キュリー夫人と科学とジェンダーという三つの要素で、ワークショップと講座を通して学びます。

【第1回 ワークショップ】

「マリー・キュリーにみる元祖理科女のジェンダー」  
日時 11月11日（日）13:30～15:30

【第2回 講義】

「マリー・キュリーの研究からつながる原子力の世界」  
日時 11月25日（日）13:30～15:30

講師 林 衛（まもる）さん（富山大学准教授）  
企画 高岡くらしの会  
定員 各25名  
託児 対象：満1歳以上就学前のお子さん（無料）  
※託児の申込みは10月29日（月）まで  
申込み 男女平等推進センター

いずれも会場は  
男女平等推進センター会議室です

ワーク・ライフ・バランスを推進します

市では、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域においても健康で充実した生活ができるよう、仕事と生活の調和の実現を図るため、学識経験者、経済団体、労働団体、公募委員による懇談会を立ち上げ、ワーク・ライフ・バランス推進指針と推進事業所認定制度を制定しました。

◆推進指針

高岡市の現状や課題を整理し、仕事と生活の調和の基本理念や、市民・地域・事業者など主体ごとのメリット、役割、取り組みの方向性を示しています。

◆推進事業所認定制度

仕事と家庭の両立に配慮した職場環境づくりを進める事業所を認定し、その取り組みを市のホームページや情報誌などで紹介します。

【認定要件】市内の事業所で、①働く意欲がわく職場づくり ②心と体の健康づくり ③家庭と仕事のバランスづくり以上のことに取り組んでいること

【応募方法】申請書に必要事項を記入し、10月22日（月）までに提出ください。申請書は男女平等・共同参画課のホームページにあります。

高岡市男女平等・共同参画課 ホームページ  
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/index.html>

高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画をすすめるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の貸出しや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日 毎月第4月曜日・12月29日～翌年の1月3日

＜相談室＞ 専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題等いろいろな相談を受けています。

相談時間  
〔月・火・水・金・土〕9:30～16:30  
〔木〕14:00～20:00

相談室専用電話  
(0766)20-1811

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)  
TEL(0766)20-1810 FAX(0766)20-1815  
ホームページ <http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/gec/>

# 高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7

(ウイング・ウイング高岡6階)

tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815

E-mail. gec@city.takaoka.lg.jp

HP. <http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/gec>

2012  
10月1日 発行

第41号

ありーて  
mate  
めいと

「ありーて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。

# センターだより

## 小ネタ探しと男女共同参画

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会会長

かわふち いくこ  
川渕 郁子



推進員になって二期目、高岡連絡会の会長という立場になった。そして4月の総会のと看、勢いで推進員の皆さんに約束してしまった。「毎月の定例会に必ず面白いネタを披露しますから、聞きに来てください」と。

半分思いつきで話したことが、こんなに自分を苦しめるとは思ってもみなかった。5月の定例会ではちょうど金環日食があったこともあり、話題に事欠かなかった。6月は金星の太陽通過の話。二回天体ショーに助けられた。さて、7月は・・・思いつかない。本気で悩み始めた。世の中そんなに面白い話題で万人ウケしそうなものは転がっていない。6月の定例会が終わってから7月の定例会までの間、ほぼ毎日小ネタ探しをしながら生活していた。いつになく新聞を真剣に読み、話していい内容か真剣に考えた。行事に参加しては人様の話のためになるお話はないかと必死に耳を傾けた。

そうして気づいたことがある。例えばテレビ、真剣に観て楽しもうと思うと、同じ内容に見える番組もそれぞれに面白かったりする。面白くない

と思って観ても、面白いものを探しながら観ると、本筋と離れたところで面白発見をする。

すなわち、男女共同参画もどう自分が意識していくかということではないか。日々過ごす中で男女共同参画社会って何だろうと考え続けることで気づき、理解していくものではないか。

あたり前と思っていた慣習や役割を改めて意識してみると「あれ？」と思うことがあるかもしれない。これがそうなのかな、そうでもないのかな・・・と、ちょっと考えて頂くといいなと思う。そうして気づいたことがあれば、ぜひ周りの人に投げかけてもらえればと願う。

推進員も定例会で学習を重ね、理解を深めている。来年度は各地区でミニ地区懇談会を開催し、より多くの方に気づきと理解のきっかけを持って頂ければと思っている。

ところで、9月定例会では若様こと氷川きよしのコンサートの話をした。これも母に誘われなければ得られないネタであった。ありがとう。助かりました、本当に。